

7月14日（火）

「幼小交流（的あて水遊び）」

兵庫教育大学附属小学校1年1組と5歳児すみれ組、わかば組の子どもたちが、小学校での的あて水遊びをしました。

1年生の子どもたちが考えて作った的あて水遊び、教えてもらいながら一緒に遊びました！



今日は暑いから、
休憩しながら遊ぼうね

こうやって、やるんだよ！

1年生の子どもたちが、幼稚園の子どもたちに、自分なりの言葉で今日の交流活動について、また、的あて水遊びについて、説明してくれました！

こうやって、水鉄砲を使うよ！やってみて！

水鉄砲で、この中に
水を入れて！





4人で的をねらおう！

これは、穴の空いている
ところをねらってね！



幼稚園の子と水鉄砲して、楽
しかった！（1年生）

楽しかった！（5歳児）



1年生の子どもたちが、自分なりに考えながら、5歳児の子どもたちに関わってくれていました。5歳児の子どもたちは幼稚園ではお兄さん、お姉さんですが、1年生に優しく関わってもらえることを喜んでいました。こういった経験が幼稚園での、今後の年下の子への関わりにもつながっていくのではないのでしょうか。

5歳児と1年生のこの2年間、幼小接続期などとよばれています。この接続期、附属幼稚園教諭、小学校教諭が、このような幼小交流などで同じ視点で子どもたちの様子を見て、学びや育ちにつながる関わりができればよいと思います。